

「柿渋」によるプラスチック削減・脱使い捨て【体験・デモあり】

2025年10月6日(月) 13時30分より

■ 講師：加納 圭 氏 (滋賀大学教育学系 教授)



加納 圭 氏 近影

■ 柿渋は日本の伝統知に基づく1000年以上の歴史を持つ生分解・抗菌・抗ウイルス・消臭性の撥水コーティング剤です。釣糸・漁網、和傘、紙子等に広く使われてきました。しかし、それらは全てプラスチックに置き換わってしまいました。現在、プラスチック製の釣糸や漁網による海洋汚染やマイクロプラスチック問題、石油消費による気候変動といったグローバル社会課題が顕在化しています。加えて、渋柿の耕作放棄地が増え、それが野生動物による獣害につながるというローカル社会課題も顕在化しています。柿渋塗料製品でプラスチック製品を代替するだけでなく、何度も柿渋塗料を塗り直し、愛着をもってメンテナンスしていくことでSDGs「12. つくる責任つかう責任」に貢献できるというアイデアについてお話します。また、これら「プラスチック削減・脱使い捨て」行動によって石油消費量削減につなげ、SDGs「13. 気候変動に具体的な対策を」達成に貢献できるというアイデアについてもお話します。また、お話をするだけでなく、実際に柿渋の効果を体験できる活動や、柿渋製品のデモンストレーションも行います。

■ 京都大学大学院生命科学研究科 修了、博士(生命科学)

京都大学物質-細胞統合システム 拠点(WPI-iCeMS)を経て、

滋賀大学教育学系教授、

オーストラリア国立大学客員研究員、

日本学術会議連携会員、

日本学術会議若手アカデミー

国際分科会委員長など。

文部科学大臣表彰科学技術賞

(理解増進部門)を2度受賞

(2014年、2017年)。

柿渋の作り方



■ 会場：植物園会館 2階 研修室

■ 参加人数：定員 60 名 先着順

■ 参加費：一般の方は¥500<会員無料>

■ 参加費のほか入園料が必要です。

■ 4月より新料金 <温室を含む入園料一般¥500円・65歳以上¥250>

■ お問い合わせ：京都園芸倶楽部

■ 075-701-0595 (木曜・土曜 13~16 時) E-mail: k.engeiclub@gmail.com

京都園芸倶楽部website

